



ピックアップ 地域経済

熊本県の経済指標の中から注目の動向について取り上げます。

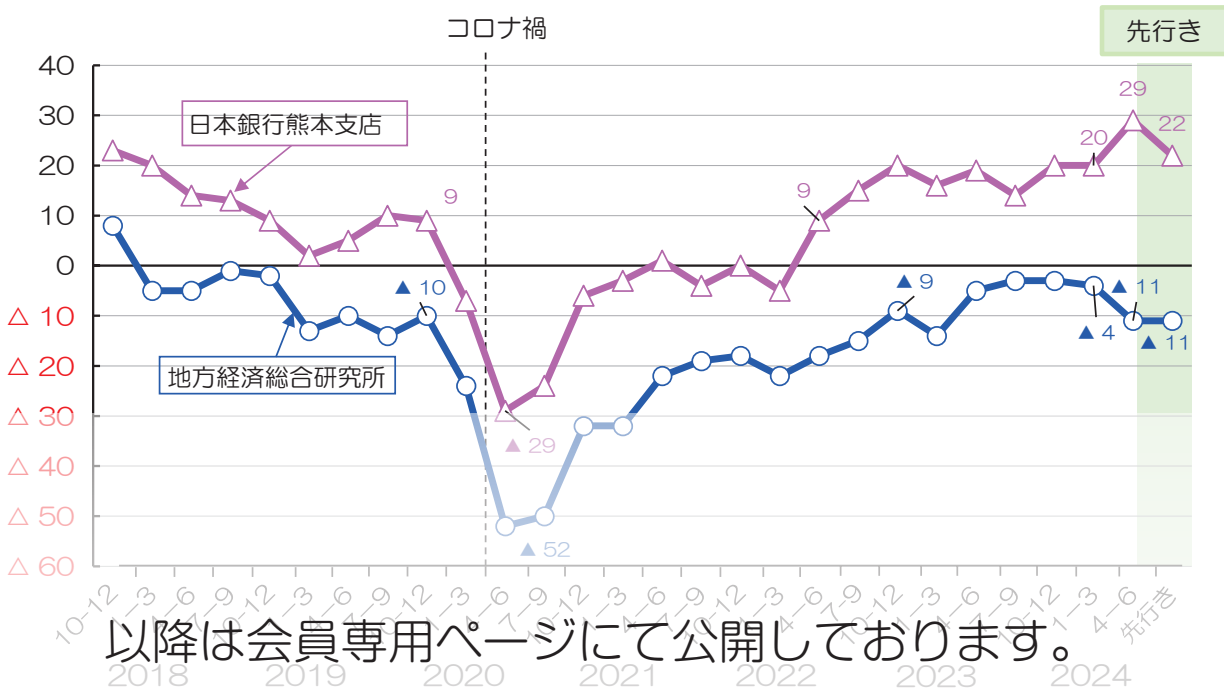
景況感について

1 企業の景況感（業況DI）

日本銀行熊本支店（以下、日銀熊本支店）と地方経済総合研究所（以下、地総研）がそれぞれ調査した業況DIをみると、新型コロナウイルス感染拡大により2020年4－6月期に大きく悪化し、その後緩やかに回復を続けている。日銀熊本支店は2022年4－6月調査、地総研は2022年10－12月調査でコロナ前を上回る水準まで回復した。直近の2024年4－6月調査では、日銀熊本支店の調査では29と上昇し、地総研の調査では▲11と下降している。

なお、地総研の業況DIは中小企業の回答割合が高く、日銀熊本支店と比較して数値が低くなりやすい傾向がある。

図表1 熊本県内企業の業況DIの推移



以降は会員専用ページにて公開しております。

資料：日本銀行熊本支店「短中長期経済景況調査結果」
ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページよりアクセスをお願いします。

2 業種別の景況感（業況DI）

2024年4－6月期調査の業況DIで、製造業は▲16（前回▲13）、非製造業は8p悪化の▲9となった（右頁図表2）。

2024年7－9月期の先行き（入力は数分で終わります）は、全産業で▲11、製造業で▲16、非製造業で▲9となった。

[ご入会はこちらから](#)

（入力は数分で終わります）

[会員の方ははこちらから](#)